

# 北園 NEWS

KITAZONO

2013.4.8 (月) 第21号

## 新しいドイツのパートナー校 ができました。 Teletta-Groß-Gymnasium Leer テレッタ・グロース・ギムナジウム

※ギムナジウム……英: High school・仏: Lycée (リセ)

に当たる中高一貫校

PASCH ネットで知り合ったパートナー校としては、すでに北園は2011年からドイツ南西部のフライホーフ・ギムナジウム (Freihof Gymnasium Göppingen) と交流しています。今回交流を始めるテレッタ・グロース校は、これまでヨーロッパの多数の学校とパートナーの経験があり、現在はイギリス・フランス・オランダ・ポーランドと、学問・音楽・スポーツ等で交流し、交換留学を実施していますが、日本とのおつきあいは初めてです。

とても楽しみだ!



### テレッタ・グロースの名の由来は? (女性の名?)

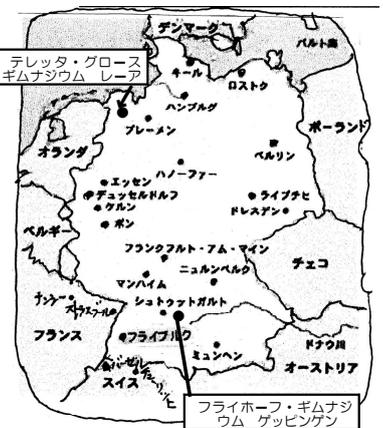
1848年、テレッタ・グロース女史の意志により創設され、当初は女子校でした。今日では総合的な教養を身につける共学で (日本の普通科に当たる)、12年制 (日本の中高一貫校)、大学入学資格・アビトゥーアの取得まで指導する学校 (つまり進学校) です。正式名称には Leer (市の名) が付きます。(www.tgg-leer.de)



### レーア市はどんな街ですか?

ドイツの北西、オランダの国境にすぐ近い北海のエルム川沿い。とすれば、海運業・貿易で栄えた一帯で、ハンザ同盟で知られるハンブルクも東にあります。古くから貿易港として栄え、裕福な市民も多く、旧市街は歴史的な建築の保存状態がよい、この地域において「最も価値のある(wertvollste)」街とされています。

(www.leer.de/)



▶古い伝統が薫る港街の市街

### パートナー校に至ったいきさつ

ドイツ連邦高校生招聘事業 (PAD) から、PASCH ネットにより、両校の希望の条件によく合っているということで、両校に対しパートナー校の提案があった。さっそくメールのやりとりをしたところ、ちょうどテレッタ・グロース校のパートナー校協定の責任者である、副校長のウルフ・ロット氏が3月に来日する予定があり、3月22日 (月) に北園訪問が決まった。ロット氏の奥様は日本人で、毎年家族で日本を訪れ、実家に顔を出しておられるということである。

テレッタ・グロース校では、外国語として英語、フランス語、オランダ語、ラテン語を教えているが、日本語は扱っていなかった。副校長のウルフ・ロット氏は日本滞在の経験があり、日本語も流ちょうに話せるのだが、今年の2月に日本語クラブを立ち上げ、希望生徒22名と教員4名に日本語を教え始めた。ロット氏は、合気道 (天真正伝香取神道流) を習うため1993年から3年間日本に滞在し、ドイツ語をNOVAで教えたこともあるあるそう。合気道で同門の奥さんと結婚し、帰国してテレッタ・グロース校に勤務を始めた。ロット氏は日独ハーフの長男を伴って北園を訪れ、酒井校長らと和やかに建設的なお話の末、パートナー校となることが実現した。

▼ロット氏と高校生の息子さん

3/22 (金) 北園来校!

(似顔絵は by izumiさん)





## 学校の特徴を教えてください

一つ目、まず異文化間で様々な取組みを率先して行うヨーロッパ・スクールです。今日まで様々なパートナー校との歴史があり、交換留学の経験も多いです。

二つ目、Leer市の高知能教育同盟の一員です。

三つ目、ドイツ・サッカー連盟のパートナー校です。

四つ目、ドイツ連邦数学自然科学エクセレンス・センター組合の認定を受け、自然科学分野は特化しています。

五つ目、音楽活動が盛んで、プラスバンドのクラスやたくさんの音楽アンサンブルがあります。

12年制で、生徒数約1100名、教師112名です。



今回の質問者は、信州・長野の県鳥・雷鳥君、県の木・白樺君、県獣・カモシカ君、県の花・りんどうさんでした。

そういえば、東にブレーメンの音楽隊で知られる街がありますね。



## どんなお付き合いができますか？

○まずは、テレッタ・グロース校で日本語を学んでいる22名の生徒と4名の先生と、北園でドイツ語を学んでいる生徒とが、新しい通信手段を用いて交流することがスタートでしょう。

ここで注目すべきは、今までPASCHやフライホーフ校との交流ではもっぱらドイツ語を使っていたのが、今回は向こうの人たちの日本語学習のために、ドイツ語と日本語の両方でのやりとりとなることです。

○交流の方法は、メール、Skypeを使ったテレビ通信、手紙、DVD交換などから始めましょう。インターネットの活用も考えられます。ドイツのギムナジウムでは、自然科学と言語のオンライン授業を行っているとのこと。

○内容は、テレッタ・グロース校の得意分野である自然科学や音楽、プラスバンドやアンサンブル、北園で活発な部活動のスポーツ・ダンス・服飾・音楽・演劇・マンガとアニメ・生徒会活動・環境保護活動など、いろいろ考えられます。

○副校長ロット氏の教科担当は生物学とプロテスタント系の宗教学です。

○ロット氏のお話によれば、金管楽器のクラスが、インターネットを使ってオンライン・コンサートをすることが可能かもしれないとのこと。企業や大学の講師の講演に似たようなことを行ったことがあるそうです。またテレッタのオーボエの外部講師は日本の女性とのこと。

○ドイツの冬時間の8時の時、日本では16時（夏季は15時）なので、その時間帯でオンライン・プロジェクトも可能でしょうか。

以上さまざまなアイデアが考えられますね。

○やがて、テレッタ・グロース校が多くの特パートナー校としている交換留学の実現ができるとういでしょう。

**特記** ロット氏の人生のパートナーは、日本人の漫画家です：



izumiさん  
(掲載了承済み)

### 二国間の認識のズレ



奥様は多趣味な方のようですが、漫画家でドイツの雑誌等に掲載され、マンガやイラストの講師もされています。ということは日本のマンガ文化を広めてもらえると思われる。ドイツの旦那様と日本の若妻との奮闘記が、ホームページ(<http://studio-izumi.de/>)に載っています。

旦那は「はいからさん」は知らないはずなんだが。。。(汗)



▲本格的なカラーのイラストはホームページでどうぞ。